

## 5周年記念パーティーのお知らせ



ご利用者様へ日頃の感謝の気持ちを込めまして、5周年記念パーティーを開催いたします。ご家族様も是非一緒に素敵な音楽を聴きながら、愛のシェフによるピュッフェランチをお楽しみください。

日時:平成 25 年 6 月 8 日(土) 11:00~14:00 すぎ  
\*1F、3F 11:00~12:20 \*2F、通所リハ 12:30~13:50  
場所:介護老人保健施設 愛 通所リハビリテーションフロア  
ご家族様参加費:700 円 (未就学児は無料)

演奏 ・ボセス・ラ・ティernas  
・クインテット・マンマ (木管五重奏)

## リハビリテーション科より

5年という1つの節目を無事に迎えられたことを大変嬉しく思います。お世話になりました皆さまには、あらためてお礼申し上げます。

振り返ってみると、様々なことに挑戦してきた日々でもありました。慣れない鋏をもちからの畑作り、フラワーアレンジメントや年賀状作りなどの色々な作業活動に取り組んできたことを思い出します。活動を通してご利用者様と一緒に楽しい時間を過ごさせていただいたと共に、たくさんの刺激や元気をもらいながら1つ1つ進めてこられたことを実感しています。加えて、老人保健施設の大きな役割でもある在宅生活の支援、認知症への働きかけとして学習療法にも力をそそいでいます。

今後もご利用者様とのかかわりを大切に、リハビリの専門職として向上していけるよう研鑽を積んでいきたいと思っております。



## つながりのある施設

### 介護老人保健施設 愛 療養長 大野 千代子

風薫る新緑の季節となり、中庭を散歩する利用者の方々の笑顔が華やかです。さて、老健愛も皆様に支えられながら開設 5 周年を迎えます。法人の理念「信頼と愛とで築く地域医療」の基、利用される方が、その人らしく生活できるよう取り組んできました。利用者様は、疾患・介護度・障害・生活習慣・好み・家庭環境がそれぞれ違います、それをいかに早く把握し、ケアサービスを提供できるか…と、職員皆で試行錯誤し話し合いを重ねた開設当初を思い出します。

当施設はユニットケアを取り入れ、自分だけの場所(個室)、安心して生活を送る家庭的な空間(ユニット)、そしていつでも寄り添う人の繋がりを重視しています。そんな当たり前の生活の中で、ご利用者が目標を持ってリハビリに励んでいただけるよう、職員一丸となり日々奮闘しております。

まだまだ至らない点はあると思いますが、利用して下さる皆様・働く職員がともに笑顔で過ごせる環境づくりを心がけ、ここでよかったと感じていただける施設を築いていきたいと思っています。

今後とも皆様のご理解ご協力よろしくお願いたします。

また、皆様からのご意見ご要望をお寄せください。



### 編集 後記

このたび、広報誌「愛のこえ」第1号を無事発行することができました。完成度としてはまだまだですが、これから発行を重ねるごとに質の向上を目指して参りますので、暖かいご支援をお願い致します。



# 愛のこえ

2013年  
5月発行

## おかげさまで5周年

### ごあいさつ

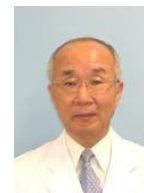
#### 介護老人保健施設 愛 施設長 一色 淳

日本の平均寿命は年々増加し、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年には65歳以上の高齢者の占める割合がピークとなり、世界でも類をみない、少子高齢化社会を迎えようとしております。そのような中で介護老人保健施設の果たす役割は重要であります。

介護老人保健施設愛は平成20年6月1日に医療法人尚寿会大生病院に隣接して開設されました。皆様方の多大なるご支援、ご協力のもとに入所者やショートステイ、通所リハビリテーションご利用の皆様に対して必要な医療を受けながらリハビリテーション・食事・入浴・レクリエーションなどの日常生活における介護サービスを提供してきました。

今年の6月で満5年を迎えるにあたり、愛の広報誌を発行する運びとなりました。これからも職員一同力を合わせ、在宅復帰支援をさらに充実させ、皆様方のご期待に沿うよう地域との連携を密にしていく所存でございます。

皆様方におかれましては今後とも倍旧のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



#### 介護老人保健施設 愛 事務長・通所リハビリテーションセンター長 小田 美津子

この度、開設5周年にあたり、この節目の年を無事に迎えることができましたのは、ひとえにご利用者様とご家族様、ボランティアや地域の方々を始め、関係各位の皆様のご温かいご支援、ご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

愛通リハでは「生き甲斐づくりのリハビリ」をテーマとし、障害を抱えながらも自分らしくありたいと願う利用者様一人ひとりの「夢の実現」に向け、私たちができることは何かを常に考えながら実践してきました。これまでの取り組みでも、例えば、以前になされていた仕事の技術を活かし木工製作をしていただいたときなどは、初めは消極的だったご本人も作業が進む中で夢中になり、これまで殆ど動かすことのなかった麻痺側の腕を使って作業されていたことに、ご自身がとても驚かれ感動されていました。今振り返れば、このような数多くの姿に私たち職員はいつも励まされ、仕事へのやりがいを感じさせて頂いていた5年間であったといえます。

これからも変わらず、私たちは自立支援に積極的に取り組むことにより、入所では、一人でも多くの入所利用者が在宅復帰できるように、また、通所では、よりよい在宅生活ができるよう中間施設としての役割を果たすと共に、さらに、尚寿会が持つ地域に根ざした医療体制、介護に関わる豊富な情報、そして、幅広いネットワークを背景に、ケアの相談から入所・通所・在宅ケアまでを包括的に支援することで、当施設をご利用される全ての方が地域社会の中で「生き甲斐」を持ち、安心して生活ができるよう取り組んで参りたいと思っております。

今後ともご支援ご指導をお願いいたします。



笑顔で歩む

# 「愛」の四季

## 春祭り

春を迎えると、愛の周囲は次々と咲き競うように一斉に花々に彩られます。桜や花桃、芝桜などを眺めながらの中庭散歩や、新緑の中、足湯を楽しまれる方が多くいらっしゃいます。

4月には施設行事の「春祭り」が開かれ、フロアごとに練習してきた歌や踊り、和太鼓、演奏など日頃のリハビリの成果を発表します。

また、5月になれば裏庭のバラが見ごろを迎え、鯉のぼりも気持ちよさそうに空を泳ぎます。

春



## 敬老会



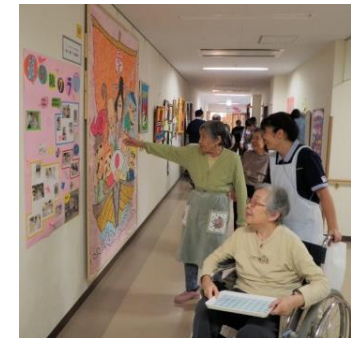
秋

秋はフロアごとの敬老会や運動会、施設行事の文化祭と行事が続きます。

文化祭では卵の殻を使ったアート作品や籐細工、染色など数々の高度な技術を要する作品を展示し、地域の方々にも見ていただきます。障害を抱えながらも一生懸命制作した作品は、多くの方に感動を与えます。また、庭で育てたさつま芋を使った「焼き芋大会」は、毎年恒例となりました。



## 文化祭



## 夏祭り

夏の愛は、中庭の木々や近くの林に暮らす鳥やセミの声でさわやかな朝を迎えます。

夏の盛りに行われる夏祭りは1年の中でも最も大きな施設行事の1つで、地域のボランティア様、利用者様、スタッフが一丸となり、焼きそばや焼きとり、フランクフルトなどさまざまな出店を出し、盆踊りやいきいき連による阿波踊りで大いに盛り上がります。そして日も暮れたころ、シャワーのような花火の輝きで感動的なフィナーレを迎えます。

夏



周囲の木々も葉を落とすころになると、施設内では忘年会やクリスマスムード一色となります。ユニットごとに「蟹鍋」や「すき焼き」「ちらし寿し」「クリスマスケーキ作り」などを企画し、利用者様一人ひとりが役割を持って作業をします。「美味しいものを食べたい！」この気持ちが自然と生活リハビリに繋がるのですね。

年が明けると、もちつき大会や伝統芸能を味わいながら新年を祝う「新春のつどい」があり、節分では職員扮する鬼に向かって、元気に玉をぶつけて無病息災を願います。

## 新春のつどい



冬



## クリスマス会



節分

